

## 第17期 第14回常任理事会議事録

日時 昭和48年12月24日(月) 14.00~17.20

場所 気象庁観測部会議室

出席者 磯野, 小平, 川村, 窪田, 二宮, 丸山, 大井,  
神山, 河村, 北川各常任理事

## 報告

〔庶務〕

1. 11月27日, レーザー・レーダー国際会議準備委員会代表あてに, 1974年開催の国際会議を後援する旨通知した。

2. 宮崎選挙管理委員長から, 第18期役員選挙の日程がきた。

選挙告示 天気1月号(1月1日付)

立候補および推薦候補の届出メ切 4月25日

投票用紙等発送 5月下旬ごろ

投票メ切 7月2日

開票および結果の発表 7月3日

〔集誌〕

1. 昭和49年度の科学研究費の申請は, 504頁として提出した。

2. Vol. 51, No. 1~No. 5のpage数実績は次のとおり

1~4 page 40%

5~8 page 32%

9~ page 28%

〔天気〕

1. 20巻までの文献目録は, 図書月報の別刷として発行の予定。

〔ノート〕

頒布価額の値上がり状況

号数	No. 113	114	115	116	117
ページ数	180	110	192	150	188
会員配付のページ単価	5.7円	4.9円	6.0円	6.4円	6.2円

〔講演企画〕

1. 昭和49年度秋季大会期日は, 海洋学会と重複するので11月6日(水)~8日(金)に変更した。

2. 春季講演会の期日を, 2月15日に決め“大規模気象現象の予測について”東工大, 国沢教授, 気象研究所廣田研究官, 気象庁 新田, 吉田(電計室), 竹永(予報)各予報官に講演を依頼した。

3. 北海道支部で, 49年度に“低気圧について”のシ

ンポジウムを開きたいが時期は, いつがよいかと問合せがあったので, 11月か12月頃がよいと返事した。

4. 東北支部の“洪水予報について”のシンポジウムには, 駒林誠, 立平良三, 山岸米二郎の各会員と, 東北支部から2名が参加する。

## 議題

1. 学会の経理について

天気に掲載する「学会財政の現状と来年度の見通し」案が提出され討議の結果次のとおり決めた。

(1) 会費を値上げする場合の実施時期は, 昭和50年1月からとする。

(2) 値上げの幅の見通しが非常に困難なので, 一応40%前後として値上げした場合の49年度と50年度の推定を天気に掲載すると共に, 理事会で最終的なつめを行なって49年度の総会に提案する。その後経済状況が急変したときは, 秋季大会の時に臨時総会を開き再値上げすることを考慮する。

(3) 気象研究所にいる常任理事が協議して, うえの点を盛り込んだ案を作成して天気に掲載する。

2. 支部設置の基本方針について

次回更に検討する。

3. 事務局員増員について

新規採用者は, 一年ごとに更新する学生のアルバイトということの基本とし, 更に検討する。

4. 事務局員に臨時手当を支給することについて

本年度限りの措置として, 0.9カ月分を追加支給することを承認。

5. 昭和49年度秋季大会の会場予約金を九州支部に交付することについて: 交付することを承認。

6. 天気編集経費増額について

担当理事と会計理事と協議する。

7. 朝日学術奨励金候補者のレフリーについて

小平, 二宮理事とする。

8. 秩父宮記念学術賞候補者推薦について

山の気象研究会推薦を承認

9. 学術雑誌の印刷用紙の確保と, 価格の引下げその他に関する要望について

内閣総理大臣ほか関係の向に要望し, 各政党, 学術団体に協力をお願いする。

承認事項 末吉正和ほか6名の入会を承認